



発行日 2024. 12. 1
発行者 渡辺 真樹
発行所 一般社団法人
群馬県理学療法士協会事務局
群馬県前橋市大渡町 1-10-7
群馬県公社総合ビル 6F
源流題字 浅香 満
編集責任者 榊原 清

源流

No. 160

Contents

■理学療法アラカルト 新しい栄養状態の評価「GLIM 基準」	七五三木 史拓	・・・	02-03
■ワークライフバランス部「仕事外の時間を充実させるために」	宇賀 大祐	・・・	04
■第 1 回認定スクールトレーナー養成講習会を受講して	中町 浩士	・・・	05
■令和 6 年度成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会へ参加して		・・・	06
	岩崎 和樹・浅川 大地		
■書籍紹介「症例・事例報告から始める PT・OT のための臨床研究実践法」	森下 大	・・・	07
■後輩理学療法士へ	須藤 裕太	・・・	08
■2024 年度介護予防推進リーダー導入研修会開催 ■第 39 回臨床講習会開催		・・・	09
■第 18 回東毛ブロック新卒歓迎交流会・第 2 回勉強会開催		・・・	10
■令和 6 年度地域ケア会議推進リーダー導入研修会開催			
■2024 年度前期研修 A 講座開催 ■第 1 回スポーツ推進部研修会開催		・・・	11
■会員動向			
■ニュース收受 ■編集後記		・・・	12

新しい栄養状態の評価「GLIM 基準」

利根保健生活協同組合 利根中央病院

七五三木 史拓



私は沼田市にある利根中央病院で勤務している、七五三木史拓と申します。理学療法士となってから今年で12年目となりました。私の専門分野は地域リハとリハ栄養になります。栄養に関しては5年目くらいから院内のNST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）の活動に参加し始め、昨年度にNST 専門療法士を取得しました。

数年前から栄養とリハビリは重要とされ、診療報酬改定においても早期の栄養管理とリハビリテーションの開始が評価されています。そして、今回の診療報酬改定では、栄養状態の評価方法が変更され、「Global Leadership Initiative on Malnutrition：GLIM 基準」が導入されました。今回はこのGLIM 基準を簡単ではありますが、紹介させていただきます。

【GLIM 基準とは】

世界の主要な臨床栄養学会が共同で作成した成人用の低栄養診断基準です。低栄養の診断及び栄養治療における世界標準となることが期待されています。

【GLIM 基準を用いた低栄養診断の流れ(図1)】

まずは栄養状態のスクリーニングを実施します。スクリーニングに用いるツールの指定は無く MUST や NRS-2002 といった検証済のスクリーニングツールを使用することが推奨されています。そのスクリーニングで低栄養のリスクがあると判断された患者に対して GLIM 基準を用いて低栄養の診断を行います。GLIM 基準は表現型基準と病因基準でそれぞれ1項目該当した場合に低栄養と診断します。低栄養と診断されたら重症度判定を行います。項目としては表現型基準の3項目でより高度な基準値を超えたものが1つでもあれば重度低栄養と判定され、そうでなければ中等度低栄養と判定されます。

【おわりに】

表現型基準の筋肉量減少と低 BMI に関しては診断及び重症度判定で基準値が設けられておらず、人種にあった評価基準を用いる事を推奨されています。今後日本人の基準値が検討されていくことが期待されます。現時点で参考の基準値を知りたい方は、日本栄養治療学会 JSPEN ホームページ「GLIM 基準について」を参照ください。

栄養スクリーニング
 全ての患者に対して検証済みのスクリーニングツールを使用し実施。
 低栄養のリスクのある症例をGLIM基準で評価

GLIM基準

表現型基準 (フェノタイプ基準)		
意図しない体重減少	低BMI	筋肉量減少
<ul style="list-style-type: none"> ・ >5%/6ヶ月以内 ・ >10%/6カ月以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <18.5 70歳未満 ・ <20 70歳以上 	CT、BIA、DEXAなどによる評価。下腿周囲長などの身体計測でも代用可。 人種に適したサルコペニア診断に用いる基準値を使用
それぞれの項目で1つ以上に該当		

病因基準 (エチオロジー基準)	
食事摂取量減少/消化吸収能低下	疾患負荷/炎症
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1週間以上、必要栄養量の50%以下の食事摂取量 ・ 2週間以上、様々な程度の食事摂取量減少 ・ 消化吸収に悪影響を及ぼす慢性的な消化管の状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急性疾患や外傷による炎症 ・ 慢性疾患による炎症
それぞれの項目で1つ以上に該当	

表現型基準・病因基準それぞれ1項目該当で
 低栄養と診断

	意図しない体重減少	低BMI	筋肉量減少
重度低栄養と診断される項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ >10%、過去6カ月以内 ・ >20%、過去6カ月以上 	高度な減少	高度な減少

図1 GLIM基準を用いた低栄養診断の流れ

*日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブックを参考に作図

参考文献

日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック
 日本臨床栄養代謝学会 JSPEN 栄養療法ポケットブック

「仕事外の時間を充実させるために」

上武呼吸器科内科病院 宇賀 大祐

皆さんの施設はどのくらい休みを取りやすい環境にありますか？

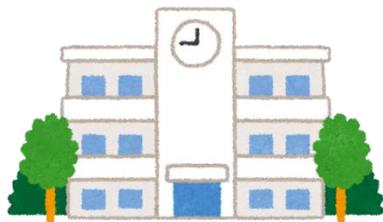
「学会や研修会に参加するため」、「子どもの運動会や発表会に参加するため」、「旅行に行くため」等の予定が事前に分かっているものや、「子どもが熱を出した」等の突発的なもの等、仕事の休みを取りたいタイミングは数多くあると思います。今回は仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の中でも、仕事外の時間を充実させるために当院が取り組んでいることを紹介します。

当院は一般病床 60 床、療養病床 60 床の規模の病院で、主に呼吸器疾患をはじめとする内科系疾患の患者さんが入院もしくは外来通院しています。私は PT5 名、OT2 名、ST2 名の計 9 名のスタッフで構成されるリハビリテーション課の管理職をしています。リハスタッフの勤務は基本的には週休 2 日制で、日祝日は全員公休、月～土はシフト制で公休があるという勤務形式です。前月 10 日頃に翌月の勤務表を作成するため、その時点ですでに予定が分かっていたら、希望休を申請することで公休や有休をその日に振り当てることができるので比較的スケジュールを組みやすい環境にしています。また、急な予定が入ってしまった場合や家族の体調不良等で緊急で有休を使うこともしばしばあり、有休消化率はかなり高い基準にあります。

私自身、現在 3 人の子どもがおり、妻も看護師としてフルタイムで勤務していますので、いわゆる共働き家庭です。2016 年に第一子が生まれた際に、当院の男性職員初の育休を 2 か月程度取得しました。男性が育休を取ることは当時はまだかなり少数派だったと思いますが、現在では産後パパ育休制度もできて、当院の男性 PT も今のところ全員育休を取得しています。また、子どもが成長するにつれて保育園や小学校等の行事が増えてきますが、ほぼ 100%参加できています（職場の方にはあいつ休みすぎじゃね？と思われるかもしれませんが…）。長男が保育園の年長さんの時には保護者会長もさせられ…させていただき、子どもの成長を近くで見守ることができました。このように休みを自分で調整しやすい環境を作ることで、ライフステージの変化とともに仕事外のことも充実した生活が送れていると感じています。管理職の私がこういった姿勢を示すことで、これから育児をしていく後輩たちにも気兼ねなく仕事外の生活を充実させてほしいと切に願っています。

追伸 ワークライフバランスの「仕事」にはあまり触れませんでした、「好き勝手休んで肝心の病院の業務が疎かになっている」ことはございません。内閣府が定義しているワークライフバランスの「仕事上の責任を果たすとともに」という部分に関しては質的な部分（提供するリハビリテーションの質）も量的な部分（病院の経営上求められている収益）もしっかり責任持って管理にあたっています。1 人の患者さんに対して 1 人の担当者というマンツーマンではなく、複数名で情報共有することで急遽メインの担当者が休んでも支障がないようにカルテの記載方法や書類の整理等を工夫して取り組んでいます。

第1回認定スクールトレーナー養成講習会を受講して



医療法人誠和会 正田病院 中町 浩士

群馬県理学療法士協会員の皆様、はじめまして。安中市にある医療法人誠和会正田病院、理学療法士の中町浩士と申します。宜しくお願い致します。

この度「第1回認定スクールトレーナー養成講習会を受講して」というテーマで執筆依頼を頂きましたので、ここにご報告させて頂きたいと思っております。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、認定スクールトレーナーとは、本年度より養成が開始された理学療法士を対象とした新しい認定資格です。学校での児童生徒等に対して保健指導的な役割を果たし、運動器疾患・障害の予防教育、運動器の健康を推進すると共に、心身の健全な成長、発達に資することを目的として構築されました。この制度は、公益財団法人「運動器の健康・日本協会」が、内閣府や文部科学省と連携を図り、外部人材を活用した学校保健を推進し、コミュニティスクールとしての地域と学校の協働や部活動の地域移行などを踏まえたうえで実施するとしています。つまり理学療法士がその特性を生かし、教員、養護教員、学校医、保護者、地域住民、外部指導者等と協力し、地域の学校の中で活動していくというものであります。

第1回養成講習会は、応募者 1,114 名の中から定員 120 名。中でも 47 都道府県理学療法士会推薦枠以外の一般公募は 73 名。自分は抽選にて運よく受講資格を得る事が出来ました。受講決定の通知が届き、喜びと共に1期生ということの重大さに気づいた時は、その責任に対して正直たじろぎましたが、e-ラーニングが開始されてからは、昼休みや、早朝、子供が寝た後等、空いた時間を利用してPCやスマホに向かいました。もうすぐ50歳を迎える身としては老眼や記憶というどうしようもない敵と戦いながら。とにかく繰り返し、繰り返し。反復して。そして8月。第1回認定スクールトレーナー養成講習会の対面式講義、演習及び資格認定試験が実施され、2日間に渡り、講義・レポート・演習課題に取り組みました。全国から集まった47都道府県の理学療法士。用意していた名刺はすぐになくなりました。同じ志を持った者。そこから得ることが出来た今まで知らなかった、知識、技術、経験、工夫。そして数々の名刺。特に演習課題では個人のアイデアは勿論、各地域の特色ある遊びを通じたコーディネーショントレーニングの実技。受講者、指導者、スタッフ、会場にいる人達の笑い声と、笑顔で過ぎた時間。「楽しくなければ子供には通用しない」教えて頂いたこの言葉が特に印象に残っています。全てのカリキュラムを終えて挑んだ「資格認定試験」。結果は群馬県理学療法士協会からの受講者は全員合格し、計5名の認定スクールトレーナーが誕生しました。

最後になりますが、認定スクールトレーナー制度の構築の為に長きに渡りご尽力され、今後の理学療法士の職域拡大と可能性を与えて頂いた、運動器の健康・日本協会、日本理学療法士協会の諸先生、諸先輩方に感謝致します。ありがとうございました。皆様の期待に応えられるよう責任を持って活動していきたいと思っております。

令和6年度成長期のスポーツ障害予防講習会

・講師養成講習会へ参加して

<概要>

令和6年9月21日(土)のオンライン開催にて、(公財)運動器の健康・日本協会主催の標記講習会に県士会の推薦により2名が参加しました。本講習会の目的は、協会が作成した成長期の野球指導者向けの全国統一カリキュラムの趣旨に基づいた指導を行える講師を育成することです。カリキュラムは、成長期の野球選手向けのPITCH SMART IIIを基にしたウォーミングアップやクーリングダウンに関する説明や実技指導、また、ストレッチや体幹トレーニングなどの補強トレーニングで構成されています。加えて、整形外科医師から成長期のスポーツ障害の概要、理学療法士から障害予防のためのコンディショニングをご教授いただきました。本講習会修了後には、全国9ブロックを基本として開催される成長期の野球指導者向けの研修にて専門家として講習や実技指導を行います。また、講師を担当するだけでなく、全国で活動している理学療法士との情報交換会等も開催されており、野球競技に限らず全国的な障害予防の活動や部活動へのサポート、学校保健等の関わりについての情報を得たり、活動内容の発信をすることで交流を深めることができます。

<参加者所感>

ぐんまスポーツ整形外科 岩崎 和樹

成長期のスポーツ障害やその予防に関する知見や具体的な指導内容についても改めて確認することが出来ました。また、それらを競技指導者に広げていくことの重要性を感じたとともに、一定の共通認識を持って各地域の医師・理学療法士・競技指導者が一体となって成長期のスポーツ障害予防に取り組むことの意義を感じました。今後、普段からサポートを実施している競技団体やチームをはじめ、群馬県でのスポーツ障害予防に向けての取り組みに活かしていければと思います。

上牧温泉病院 浅川 大地

スポーツ障害などの予防活動において自身や同じ職域の人々と協力してだけでなく、実際に選手の指導に関わる指導者や保護者に障害予防について知ってもらうことが必要であると改めて感じました。また、理学療法士として1対1の役割が多いですが、知識などに幅のある方々に対してどのように伝えていくかという視点が重要であるとともに、選手らを守っていくことに繋がると感じました。このような学びを生かして、今後も群馬県をはじめとしたスポーツ活動にどのような支援ができるか広い視点で考えていきたいと思っています。

*****書籍紹介*****



「症例・事例報告から始める PT・OTのための臨床研究実践法」

医療法人社団東郷会 恵愛堂病院 森下 大



著者名：森岡周（監修）
石垣智也・丁子雄希（編集）
出版社：メジカルビュー社
価 格：3,800+税

初めまして、みどり市の恵愛堂病院に勤めている森下と申します。今回私が紹介させていただくのは「症例・事例報告から始めるPT・OTのための臨床研究実践法」です。

この書籍はケースレポートと研究の連続性をコンセプトとし、ケースレポートから研究、そして研究からケースに立ち返る「循環型の臨床研究」を実践する方法を解説されています。

序章では臨床研究における基本的な研究デザインに加え、PubMed 等での論文検索方法、論文の読み方等について具体的に網羅されており、情報収集のプロセスをわかりやすく解説されています。若き日の自分は論文を読んだ際、ある論文では「〇〇に対し××に有効である」と書かれているのに対し、別の論文では「〇〇に対し××は無効である」と書かれており、とても混乱したのをよく覚えています。今思うと研究デザイン等について知らず、論文を十分に読むことができていなかったなあと反省するばかりです。

次章以降では具体的なケースレポート、臨床研究の目的・方法・流れについて解説されています。この書籍で特徴的なのは、症例・事例紹介として著名な先生方がどのように臨床疑問を持ち、それを学会発表・論文執筆に至ったかの過程を詳細に解説されている点です。このような書籍は私が把握している限り、今までなかったかと思います。そういった点では解説書としてだけでなく、指南書としても十分な活用が可能となっています。また普段耳にすることの少ない統計処理方法について、どのような方法か、なぜその方法を選択したのかについて簡単ではありますが解説されているため、初学者で挫折しやすい統計についてもわかりやすい内容となっています。

日本理学療法士協会における生涯学習制度が改訂され、専門・認定理学療法士の更新には都道府県士会またはブロックレベルでの学会発表や論文採択が必須となりました。認定理学療法士を取得された一方、学術活動されていなかった先生方も少なからずいらっしゃると思います。この書籍はそのような先生方はもちろん、臨床における問題解決に活かせる内容も多く含まれておりますので、経験豊富な先生方にもぜひ手に取っていただきたい一冊となっております。

冗長な文章となってしまいましたがご容赦ください。私もまだまだ初学者です。学会の場等でお会いする機会がございましたら、ぜひご指導のほどよろしくお願い致します。

後輩理学療法士へ

前橋赤十字病院

須藤 裕太



はじめまして。前橋赤十字病院に勤務している須藤祐太と申します。臨床経験は今年で9年目となります。私は4年目の頃から回復期リハビリテーション病棟の専従として働いていますが、その中で特に印象に残っている症例のことやその経験を通して感じたことを、簡単にご紹介させていただきます。

患者様はCOVID-19肺炎により急性期病棟で長期の人工呼吸器管理が必要となった方で、私は回復期病棟へ転棟してから担当することとなりました。当初、意思疎通は問題なく行えるものの、内部障害を複数抱え、四肢の抗重力運動が困難で、車椅子へ移乗するのも4~5人の介助を必要とする重症でした。医師からは本人・ご家族へ、今後歩いて生活することは難しいかもしれないとの説明がされていましたが、ご本人は歩いて家に帰るという意思が固く、ご家族はどんな状況でも自宅に帰ってきて欲しいとの思いでリハビリの継続を希望されていました。疾患や重症度など、私が過去に経験したことがない症例であり、周りのPTでも経験のない症例であったため、参考になりそうな文献をいろいろ調べ、そこから私自身ができる理学療法を提供しました。その結果、ご本人のHOPEである屋内歩行の獲得と、自宅退院という目標の達成に繋げることができました。

患者様と自分自身が立てた目標に到達できた時の達成感は、理学療法士としての一番のやりがいだと思います。理学療法士は生涯学習が必要で、学習を継続することは楽なことではないかと思えます。私は今回のケースで目の前にいる患者様の人生が、自分の行う理学療法によって変わるかもしれないということを改めて強く感じました。

担当した患者様に、より質の高い理学療法を提供することができ、患者様に満足していただく結果にも繋げるためにも、また理学療法士という職業にやりがいを感じるためにも、日々の自己研鑽に励んでみてはいかがでしょうか。



研修会報告

2024 年度介護予防推進リーダー導入研修会 開催

令和6年9月1日（日）、オンラインにて介護予防推進リーダー研修会が開催されました。研修では介護予防の現状と今後の課題・PT に課される役割等の講義の後グループワークが行われました。介護予防推進リーダーは介護予防に特化し、理学療法士の専門性を活かした適切な評価とそれから導かれるプログラムを立案することだけでなく他職種・住民との連携を中心となり実施していく能力が必要となります。これらは地域包括ケアシステムだけでなく通常業務においても必要な能力であり、改めて日常の業務を見直すきっかけともなり有意義な時間となりました。

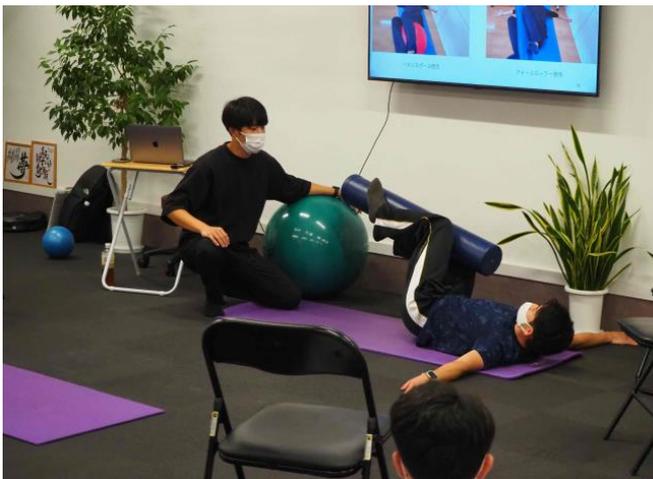
第39回臨床講習会 開催

令和6年9月8日（日）、第39回臨床講習会が対面・WEBのハイブリット式にて開催されました。国立循環器病研究センター、庵地雄太先生に理学療法における動機付けをテーマに講義をしていただきました。講義ではまず自己決定理論、動機付けを種類分け、相互作用モデルについての講義をしていただき実際に臨床で経験した問題に対しなぜうまくいかなかったのか・どこを改善したらよかったのかを考えていくものとなっております。実際に先生が受け持ったケースも例として紹介してくださり、直ぐにでも現場で活かせる内容であると感じました。また先生のお言葉よりリハビリ職は医療職で一度に一番長い時間を患者様と共有できる職業である事、他の職種には話せない不都合な真実を知ることができるかもしれない職種である事に気が付き、今後も患者様に寄り添い、多職種と連携を取っていかなくてはならないと再認識させられる機会となりました。



第18回東毛ブロック新卒歓迎交流会・第2回勉強会 開催

令和6年9月20日(金)、第18回東毛ブロック新卒歓迎交流会・第2回勉強会が開催されました。勉強会では堀江病院、久保一樹先生が実技をメインに腰痛の評価と治療を安定性と可動性の視点から考えていく内容となっております。丁寧な説明と動画による説明の直後に実技が実施できるとありとても分かりやすく、講義後は実際の臨床で困っていることについて質問が多く上がりとても実用的な勉強会であると感じました。勉強会後の交流会では2グループに分かれそれぞれ情報交換や治療方法についての悩み等が話題に上がり、実際に久保先生が治療方法を実演して下さる場面もみられました。勉強会も交流会も皆和気あいあいと参加している印象を受けとても充実した内容であると感じました。



令和6年度 地域ケア会議推進リーダー導入研修会 開催

令和6年9月22日(日)、地域ケア会議推進リーダー導入研修会が健康福祉大学高崎にて対面形式で開催されました。講義は小野友也先生、齋藤道子先生、篠原智行先生、入内島弘太先生の4名による講義の後模擬でのケア会議・質疑応答が行われました。講義では地域包括ケアシステム・地域ケア会議について基本的な説明からそれらの背景・今後どのような変化が予測され我々理学療法士はどのような役割を期待され担うべきなのかを分かりやすく説明して頂きました。また現場での実際の資料を用いた模擬会議では実際に会議に参加したかのような経験を得ることができました。私は病院での治療と訪問でのリハビリを提供させていただいており、退院後の生活も大事である事は理解しているつもりでしたが今回の研修でより退院後地域で自分らしい生活を送るためには多くの職種の連携が必要である事とその連携を取るための知識や行動がまだまだ不十分である事を認識させてもらう機会となりました。



2024 年度前期研修 A 講座 開催

令和6年9月29日（日）、群馬大学医学部附属病院にて開催された前期研修 A1、3、5、6 を対面で受講させていただきました。eラーニングでの受講では、日々の空いた時間を使って視聴するため、一度に一コマ分を続けて視聴できないことがあり、理解しにくい部分がありました。しかし、対面では連続して受講できるため、理解が深まりやすいと感じました。講義内容も非常に分かりやすく、大変有意義でした。

（医療法人 相生会 わかば病院 鈴木大介）

第1回スポーツ推進部研修会 開催

令和6年9月29日（日）、高崎健康福祉大学にて開催された第1回スポーツ推進部研修会に参加させて頂きました。東京、パリパラリンピックでも活躍された赤岩龍士先生にご講義いただきました。まず始めに健康とは何か、オリンピックとパラリンピックの違いや共通点、パラスポーツの理念や意義、理学療法士が関わる役割について説明していただきました。時折、受講者への問いかけやオリンピックと比較してパラリンピックへの理解が十分ではありませんでしたが、講義を受ける中で、徐々にパラリンピックへの関心があがってくるのが実感できました。理学療法士として何ができるか、パラスポーツ以外でも普段の業務に何か活かしていけるような、そんな貴重なお話を聞くことができました。

（医療法人 相生会 わかば病院 星野文哉）



会員動向

令和6年11月20日現在

会員数 2,132 名、休会 365 名、新入会 14 名、施設数 412

ニュース收受

2024/8/8	愛知県理学療法士会ニュース 214号	愛知県理学療法士会
2024/8/8	和歌山県理学療法士会ニュース No. 102	和歌山県理学療法士協会
2024/8/9	高知県理学療法 第31巻	高知県理学療法士協会
2024/8/19	滋賀県理学療法士会ニュース No. 225	滋賀県理学療法士会
2024/8/26	広報誌「ゆきわり草」完全電子化のお知らせ	新潟県理学療法士会
2024/8/26	代表理事 退任・就任のご挨拶	富山県理学療法士会
2024/8/27	鹿児島県理学療法士協会ニュース No. 102	鹿児島県理学療法士協会
2024/8/30	群馬県医師会報 No. 913	群馬県医師会
2024/8/30	JPTA NEWS Vol. 350	日本理学療法士協会
2024/8/30	第26回 群馬県作業療法学会学会誌	群馬県作業療法士会
2024/9/5	大阪府理学療法士会ニュース第305号デジタル配信	大阪府理学療法士協会
2024/9/5	群馬県言語聴覚士会ニュース 76号	群馬県言語聴覚士会
2024/10/1	山梨県理学療法士会 会報誌 No. 164 Supporters	山梨県理学療法士会
2024/10/1	群馬県医師会報 No. 914	群馬県医師会
2024/10/1	埼玉県理学療法士会 50周年記念誌 発刊	埼玉県理学療法士会
2024/10/16	茨城県理学療法士会 インフォメーション No. 185	茨城県理学療法士会
2024/10/23	秋田県理学療法士会ニュース第214号	秋田県理学療法士会
2024/10/23	ケアマネ群馬 No. 135	群馬県介護支援専門員協会
2024/10/30	広報誌「かくどけい」Vol. 146	熊本県理学療法士協会
2024/10/31	群馬県医師会報 No. 915	群馬県医師会
2024/10/31	群馬県作業療法士会ニュース「からっ風通信」第158号	群馬県作業療法士会
2024/11/1	JPTA NEWS Vol. 351	日本理学療法士協会
2024/11/6	愛知県理学療法士会ニュース APTA No.215	愛知県理学療法士会
2024/11/12	HPTA NEWS One step No. 279	広島県理学療法士会

*** 編集後記 ***

今回の源流の取材として多くの研修会に参加させて頂きましたがその度に講師の方はもちろん開催にあたって準備をされている部会の方の尽力があって私たちは学ばせていただいているという事を強く感じました。今回学んだ事を臨床で活かす少しでも患者様の為になるよう努力して参ります。

最後になりますが今回源流編集にあたり、原稿の執筆を快く引き受けていただいた先生方、また研修記などご協力いただいた先生方には心より感謝申し上げます。

青木 桂二